

## 第2回 聖籠町総合計画審議会 議事要旨

日時 令和7年12月4日(木) 14:00~16:20  
場所 聖籠町役場3階 大会議室  
出席委員 鷺見会長、荒木委員、鈴木委員、安尻委員、青木委員、金山委員、齋藤委員、高橋(真)委員、田中委員、堀委員、渡邊委員  
欠席委員 中村副会長、入山委員、高橋(栄)委員、手嶋委員  
事務局 小林総合政策課長、佐藤ふるさと整備課参事、渡邊総合政策課長補佐、小林総務課長補佐、鈴木総務課長補佐、足立税務課長補佐、吉田生活環境課長補佐、大沼産業観光課長補佐、稲田上下水道課長補佐、天野農業委員会事務局次長、和田町民課長補佐、勝見保健福祉課長補佐、阿部長寿支援課長補佐、大野子ども教育課長補佐、阿部教育未来課副参事、飯沼社会教育課副参事、諏江図書館副参事、東港振興室 小林係長、総合政策課 高橋主事

- 次第
- 1 開会
  - 2 議事
    - (1) 部会検討結果の報告について
    - (2) 全体を通じた素案の審議について
    - (3) 今後のスケジュールについて
  - 3 閉会

---

### 議事 (1) 部会検討結果の報告について

#### 【第1部会(安心安全+産業・観光)】

##### ○ 部会長からのコメント

買い物・交通と農業が主な課題として議論に上がったが、具体的な対策までは踏み込めなかった。全体的に抽象さは残るものの、課題解決に向けて取り組んでいくという方針は素案に記載している。町民と共有しながら、具体的な実施計画をもとに進めていただきたい。

##### ○ 事務局から資料1-1, 1-2に沿って主な変更点を説明

- ・第1章：苗木配布事業など廃止事業の削除、町の他行政計画との整合性を図った指標の修正、ゼロカーボンシティ宣言の記載 等
- ・第2章：SNSを活用した災害時の情報発信についての記載、防犯カメラの稼働日数の指標修正、国の制度改正に伴う空き家対策の修正 等
- ・第4章：人・農地プランから地域計画への文言修正、海水浴場の表記修正、聖籠町産農産物を活用した加工品開発の指標設定 等

##### ○ 質疑応答

委員 不法投棄の防止(資料1-1p16)について、関係機関等との連携により、監視

体制の強化を図るとあるが、関係機関はどこを指すのか。

**事務局** 管内の警察署と新発田地域振興局環境センターのことである。

**委員** 施策目標「有収率」(資料 1-1p21) について、現況値 90.3%より、目標値 90%が低く設定してあるが、これは削減目標なのか。

**事務局** 有収率は、火災の発生回数等により年によって数値が大きく変化する。2024年度は90.3%と目標を達成できたが、今後も90%を維持という意味で設定した。

**委員** 施策目標「食育を通じた交流事業実施数」(資料 1-1p45) について、修正前はこども園が含まれていたが、後期計画からは削除された理由は。

**事務局** 町立のこども園が無くなり、幼稚園のみとなったため文言整理を図った。

**委員** 「鉄道の整備」(資料 1-1p15) について、JR 白新線の複線化を要望すると記載があるが、これは町の仕事なのか。

**事務局** 関係市町村で期成同盟会を作っており、促進大会や要望活動を行っている。

**会長** 町民が駅を利用する際の利便性を高めるため、町として、他自治体と連携して要望を行っているということ。

**委員** 第4章Ⅱ1 現状と課題(資料 1-1p47)で、海洋レクリエーション施設、公園、神社仏閣等の観光資源の周辺整備が必要とあるが、周辺整備とは具体的に何か。

**事務局** 周辺整備は、海のにぎわい館や公衆トイレ、駐車場などの維持管理である。

**委員** 施策目標「特産品の開発」(資料 1-1p57) について、現況値 0 商品のところ、目標値 8 商品は高いのでは。また、現在加工センターを利用した取組は 2025 年時点ではどのくらいあるか。

**事務局** 2025 年度から指定管理者が変わり、新商品の開発に意欲的に取り組んでもらっているため、期待の意味を込めて 8 商品と設定した。聖籠産果物を使ったジャムやアイス、チョコレートを開発し、販売を行っている。

**委員** ごみの減量化・資源化の促進(資料 1-1p17) について、小型家電リサイクルの記載が後期計画では削除されたが、町のごみの出し方辞典では杉の子の家で回収を行うとある。また、リチウムイオン電池の回収はごみ全体の 4 R の推進に含まれているため、計画には記載しないということか。

**事務局** 現在、小型家電リサイクルが人手不足により進んでおらず、実態に即した内容とするため削除した。リチウムイオン電池はごみ全体の 4 R の推進に含めており、現在、来年度以降の回収ボックス設置の検討を行っているところ。

## 【第2部会（福祉＋教育・文化）】

### ○ 部会長からのコメント

福祉と教育を横断した視点、分かりやすく実効性があり町民の暮らしに届く計画という点を重視した。福祉分野では、相談支援体制や孤立防止、権利擁護への対応について多く意見が出た。教育分野では、ヤングケアラー等多様な家庭への相談支援体制の強化や、屋内遊び場の整備についての丁寧な議論の必要性を確認した。

## ○ 事務局から資料 2-1, 2-2 に沿って主な変更点を説明

- ・第 2 章：消費者被害防止に向けた連携体制強化・教育の充実、健康を支える環境づくりとして災害時健康対策の追記、集団健康教育の充実の追記、避難要支援者名簿作成の追記、単身高齢者についての追記 等
- ・第 3 章：学校・家庭・地域の協働体制、教員の働き方改革の推進、子どもたちの主体的な学び等を重視した修正 等

## ○ 質疑応答

委員 主要事業「避難行動要支援者名簿等作成事業」（資料 2-1p25）の事業説明について、名簿を「整備」とするというのは作成という意味か。

事務局 名簿作成だけでなく、毎年更新していることから、整備という文言とした。

委員 施策目標「学校給食等への地産地消率」（資料 2-1p35）について、目標値が前期より低い、生産者の減少や作物の数量・品種の低下が理由か。

事務局 農家の全体数や野菜生産品目数の減少が大きな要因である。

委員 施策目標「教員の月平均超過勤務時間」（資料 2-1p37）について、上限ガイドラインは 45 時間ということか。

事務局 国の上限ガイドラインは月 45 時間だが、一月ごとではなく、年間を通じた年平均超過勤務時間が一月当たり 45 時間という考え方に変わったため、指標を変更した。

委員 施策目標「人口一人当たりの貸出点数」（資料 2-1p66）について、県や新発田市が 3.5～4 あるのに対し、聖籠町は 8.5 と高いが何か取組を行っているか。一般的に高齢者の貸出点数が多いが、若者の利用状況を教えてほしい。

事務局 町としては、2019 年度 9.9 点から減少したため高いという認識はなく、減少した理由は団体貸出冊数を 35 冊に変更したことが要因。若年層の貸出点数は減少し、若者向け書籍の購入等を行っているがすぐには効果が現れていない。

委員 本を貸すことが目的化せずに、若者の居場所となるよう意識してもらいたい。

委員 施策の方向「屋内遊び場施設の整備」（資料 2-1p59）について、本項目では子育て環境について記載すべき。生涯学習や健康づくりは他の章に記載すべきでは。

事務局 おっしゃる通り、記載の方法・表現を検討させていただきたい。

委員 第 3 章 V 2 「青少年健全育成の推進」の基本方針（資料 2-1p68）について、メディア媒体に関する記載が今回削除されたが、追加する予定はあるか。

事務局 前段で青少年を取り巻く有害環境対策について記載しているため、基本方針への追記を検討する。

## 【第 3 部会（行財政）】

### ○ 部会長からのコメント

主な見直し内容は字句や時点修正だが、マイナンバーカードの普及やデジタル技術を活用した効率的な行政サービスの導入検討などデジタル化に向けた取組について

見直しを行った。SNSの有効活用や外国籍住民の共生についても委員から意見が出た。

○ 事務局から資料 3-1, 3-2 に沿って主な変更点を説明

- ・第 5 章：SNS 活用、県制度（ニーフル）の変更に伴う男女共同参画の実現、外国籍住民との共生、フロントヤード改革等を踏まえたデジタル化等に係る修正

○ 質疑応答

- 委員 施策目標「町公式 SNS アカウントのフォロワー数」（資料 3-1p2）について、メニューをカスタマイズできる LINE ではなく、X とした理由は。
- 事務局 町の LINE は、子育てや行政情報などの目的別に分かれているが、X は分野に限定せず情報発信する扱いとしているため、普遍的な指標として X を用いた。
- 委員 施策の方向「健全な財政運営の推進」（資料 3-1p9）について、稼働していない町有地の処分や活用も検討できないか。
- 事務局 要望があったということで庁内で検討する。
- 委員 施策目標「県制度（ニーフル）認定企業」（資料 3-1p5）について、目標値が 20 事業所となるのはハードルが高いのでは。認定を増やすための町の支援は。
- 事務局 ニーフルは一般とゴールドの 2 段階の認定となっている。一般は従前のハッピーパートナー企業制度と同様であれば、認定企業数は今後増えると想定している。町としては町内のハッピーパートナー企業への呼びかけを考えている。
- 委員 外国籍の方への災害時の支援はどのようなことを行っているか。
- 事務局 町ホームページの翻訳機能の活用、在留外国人に向けた防災セミナーを実施し、体制整備に取り組んでいる。今後も必要に応じて検討していく。
- 委員 マイナンバーカードを活用し、コンビニでの行政手続きができるようになれば利便性が高くなるのでお願いしたい。
- 事務局 コンビニ交付について、皆様からのニーズが高いことは承知している。現時点では、国主導のガバメントクラウドへの移行の動き・費用が不透明であり、取り組んでいないが、可能な限り前向きに検討したい。

議事 (2) 全体を通じた素案の審議について

- 委員 社会福祉協議会では「移動」を大きな問題として考えており、地域住民の支え合い等、買い物困難者が免許返納しても暮らせる仕組みを考えている。町として財政面の支援をお願いしたい。また、本計画と地域福祉計画、社会福祉協議会の地域福祉活動計画の 3 つの計画が連動するよう検討してほしい。
- 会長 この情報を庁内に共有していただきたい。

議事 (3) 今後のスケジュールについて

○ 事務局から資料 4 に沿って説明

- 会長 このスケジュールで今後進めさせていただく。今日出た意見を町事務局で再度検討し、改めて次回 1 月 21 日の審議会で修正案をご提示いただきたい。本日の議事は終了する。